

第3回福岡市食育推進会議議事録（要旨）

- 1 開催日時 平成19年2月7日（水）15：00～16：30
- 2 開催場所 西日本新聞社 国際ホール
- 3 会議次第

| |
|-------------------|
| 1 開 会 |
| 2 議 題 |
| 議題1 食育推進計画（案）について |
| 議題2 その他 |
| 3 閉 会 |

- 4 出席委員 福岡市食育推進会議委員 20名
欠席委員：吉田宏会長，倉光一雄委員，古賀文磨委員，杉正道委員，
山崎一委員，吉村哲夫委員，佐本文男委員
関係者：吉積政明（福岡市農業協同組合指導部長），
古賀貞雄（福岡市保育協会副理事長）

- 5 報道機関取材者及び傍聴者
報道機関：無 傍聴者：無

6 議事概要

- 議題 1 食育推進計画（案）について
パブリックコメント結果について説明
パブリックコメントを踏まえて修正・加筆した計画案についての説明
- 2 その他
今後の対応について
親子で使う食事バランスガイドの説明（早淵委員）
い～なふくおか子ども週間♡の説明（こども未来局長）

（意見）

- | | |
|----|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| 委員 | ・パブコメに対してそれぞれに対応して，細かく案が作られていると思う。 そこまで丁寧にやらなくてもよいのではないかという感じはするが，結果としては良くまとまっているように見える。 |
|----|---------------------------------------------------------------------------------------------|

- 委員 ・ こういう会議に参加させてもらい，計画というのはこんなに大変な思いで作られているのかと改めて認識を深くした。こんなにいい案ができて，後はどうやって実践化していけばよいのだろうかと言う思いである。
- 委員 ・ 16ページの若者期のところにある「健全な食習慣と運動習慣の獲得」の「獲得」というのは文言としてはどうだろうか。
- 委員 ・ 今の指摘は「定着」という言葉に代えた方がスムーズではないかと思う。計画案に関しては異存はないが，パブコメに対して一言言わせてもらおうと，179件87人団体の意見をいただいた訳だが，まだまだ食育に関して市民の関心が低いのでないか。
- それと各区毎に意見が出ているが，例えば人口が一番少ない城南区が一番多くて，実際多い東区や南区が少ないということで，これで均整のとれた情報収集ができているのかということに疑問に思う。
- 特に，親が働いていて子供にとって厳しい環境の家庭が多い地域に対しての気配りなどまで考えていただければと思う。
- 委員 ・ ここまでまとめていただいてありがとうございました。
- しかし，条例があって計画を作ってそれで終わりではない。だいたい計画倒れが多い。計画を作るまでに力を入れるだけでなく，その後に現実的にどういった形で定着させていったのか，そして食育というものに対する行為を行ったのか，計画の実施レベルでの定点観測をしなければならない。
- 計画は，皆さんの力できちんとされたので，今後はこれが継続していく形でこれからのパワーを使っていく必要があると思う。
- 委員 ・ 私どもの校区では，中学生との座談会の中で24人中11人が朝食を食べていないということが判明した。なぜかと聞くと，お母さんが起きていないと言う。公民館としてどう対応したらよいかを考えて週5日制を利用して，朝ごはんを自分で作って学校へ行こうということで，食事を作る会を開催した。
- 米の洗い方を教え，おにぎりを作ったり，煮干しだしのみそ汁や卵料理を作った。これなら自分たちもできるということで，それを踏まえて区の公民館長会でも話をし，今後，区の公民館ではやろうということになった。
- 楽しい行事になったので子ども達とつながりを持ちながらやれると思う。公民館では，食生活改善推進員の活動や，男女共同参画事業などいろいろ

な行事を別個にやっているが、一つに集めて子どもに主眼をおいて地域社会に向けた行事をやっていきたい。

小・中学生を集めた「朝ごはんづくり」は成功したかなと思っている。

委員 ・パブリックコメントを踏まえて充実した計画をたてていただいたと思う。今後計画の実践と評価を是非お願いしたい。

18頁に成果指標が出ているが、「食育に関心がある市民の割合77.6%を22年度に90%にもっていくということなので、かなり力を入れていかなければならないと思っている。

食事バランスガイドについては、60%にするということで、気持ちを新たにした。

34頁の一覧表を計画案に位置付けられたことで、教育を担う者としては、ここをやっていると明確に示せるのでありがたいと思っている。

委員 ・よくできた案と思う。17頁のメタボリックシンドロームの予防についてさらっと書いてあるが、これは大変難しい問題である。厚労省が来年からやる、特定健診・特定保健指導を行い、有病者を減らすことを、福岡市も保健所としてやっていかなければならない立場で、食育からするとやせなさいということだろうが、この部分はいいのかなと思った。

委員 ・34頁の表を評価していただいたが、先程子どものことの成果の発表が公民館からあったが、福岡市は大学や短期大学、専門学校が多く若者が多いので、何かネットワークを作ってやっていくことが必要だと思っている。特に男子の想像を絶するような現状については目の当たりにしているので、憂慮している。基本的なことをしっかり身につけられるような、食育を推進できるようなネットワークを作っていきたい。言うだけではなく強い姿勢で実現して、5年後に成果があるような対応ができたらと考えている。

委員 ・計画はよくまとまっていると思う。私は日本食を見直してもらいたいと考えている。それに伴う文化もしっかり教えていくことが大切だと思う。

委員 ・生産者の立場からみて、すばらしい案になっていると思う。栄養士の方から聞いたところによると3歳児から小学校までに野菜を食べるようになると好き嫌いがなくなるということである。我々農業団体で、出前講座を小学校でさせてもらっているが、種まきから収穫まで行うキッズクラブを立

ちあげている。自分たちが収穫をするとおいしいと感じて食べることができるようになる。そういうのも、取り入れてほしいと思う。

委員 ・ 小学校の立場から言わせてもらおうと、この10年間で3校に1校、栄養職員を配置してもらったため、食育については随分定着してきていると思う。今後は、管理職を中心とした職員の意識啓発が大切になってくるため、さらに他の2校にも栄養職員を配置していただきたい。成果指標を給食の残滓を半減するとしているが、これについてはやっつけていけないのではないかと考えている。そのためには、現在栄養職員から栄養教諭への配置が計画されているが、(栄養)教諭になるとさらに自信を持って指導できるのではないかと思うので、是非栄養教諭の配置も進めていただきたい。

委員 ・ 今回、公民館での自分で作る朝ごはん教室に、朝ごはんを食べていない中学生の男の子を参加させた。朝ごはんは、特に男の子は自分で作ることができるようになることが大切と思う。独り立ちしたときに自分の食事をどうするのかを考えると、作れるように指導するのは中学生までかなと思う。

地域とタイアップしてやっていくと、親も関心が向くのではないかと思う。朝ご飯のアンケートを取ると結構食べているが、質の問題がある。ビスケットと牛乳とかで朝ごはんを摂っていると思っている。

公民館・地域と結びつけていくことが大切であり、また、できるのではないかと思う。

委員 ・ 家庭の役割が重要であると感じている。福岡市や県、北九州市のPTA連合会で生活リズムということで朝ごはん運動を行っている。北九州での服部先生の講演会で「今のお母さん方に期待しても無駄なので、現在のお子さんをどう育てるかではないでしょうかね」とおっしゃられ、「(そんなことおっしゃらないで)我々はあきらめないで集まっているのです。」と言いたかった。

PTAとしても取り組んでいて、福岡市では1月10日から、生活リズムのアンケートをとり、PTA協議会が主催して、ふれあい週間を設けた。自分自身で「何時に寝ましょう、何時に起きましょう、朝食を摂りましょう、もう一つは自分の目標を決めて」を実践した。私の家庭でも様子が変わった。

県下一斉に行い、なぜこんなことをするのかとおしかりもあったが、基本ができていないとそういう問題もできない取り組みなので、県下90%

の取り組みがあった。

食育についても指定校を設けて推進しているので、成果が出てくると思う。

委員 ・すばらしい計画が出来上がっていると思う。後は各団体・現場で、今後推進がすすめられるものと思う。保育園で給食は出しているが、色々な課題がある。朝ごはんは約8割くらいが食べているが、まだ車の中でおにぎりを食べさせている親もいる。

親が忙しいことはよくわかるが、過去に東区の保健福祉センターの指導で、食育推進のボランティアの方に、保育園の保護者に朝食の簡単な作り方の指導を行ってもらってよかったと思っている。

お母さん方からも初めてこんな指導をしてもらってよかったという声が上がっていた。父母に朝の食事の指導は大切だと思った。

もう一つ、和食を食べさせることによって、その良さが子ども達にもわかる。食文化、日本食の良さを広められるような場の設定をしていく必要があると思う。

委員 ・本市の食育推進計画を作っていただきましてありがとうございました。

この計画をいかに実行に移すかになると思う。食育あるいは健康づくりというのは永遠の課題だであり、地道にやっていくだけだと思う。

やるべき事が多々あるが、行政だけでは限度がある。地域、学校などいかに関係団体の方々と連携していくかが課題である。今回の計画では22年度までに成果目標を掲げているので、今までの計画とは違うとされていて、具体的に取り組んでいくべきだと考えている。皆様方の一層のご協力をよろしく願います。

委員 ・事務局は本日の意見を取り入れて計画を作成していただきたい。修正点等については、文章表現等を含めて私と事務局に一任していただきたいと思うがよろしいでしょうか。

(委員了承)